

平成 21 年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473200325	事業の開始年月日	平成12年3月16日	
		指定年月日	平成12年4月1日	
法人名	社会福祉法人 幸済会			
事業所名	高齢者グループホーム 三幸の園			
所在地	( 241-0012 ) 横浜市旭区西川島町 1 2 7 - 1			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
	認知症対応型共同生活介護	定員計	9 名	
		ユニット数	1 ユニット	
自己評価作成日	平成22年2月21日	評価結果 市町村受理日	平成22年5月31日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/informationPublic.do?JCD=1473200325&amp;SCD=320">http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/informationPublic.do?JCD=1473200325&amp;SCD=320</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>行事が盛んであり、一月に二回は施設内行事と外出行事を行っています。参加される入居者の方はとても喜ばれ普段の生活では見れない姿が見られる為に入居者の方のQOL、ADLの向上にとっても効果が見れてきています。地域の方との交流にも力を入れています。隣が小学校という事もあり、小学生との交流は施設行事や小学校行事にお互いが参加する関係があります。入居者の方にとってはとても良い刺激になっており今後とも継続していきたいと思っております。</p>
--

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-4 ｸﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞﾞ 3階		
訪問調査日	平成22年3月24日	評価機関 評価決定日	平成22年5月19日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>○災害時、緊急時の避難について 入居者の身体能力に応じ、避難方法や避難通路が設定され、緊急時に混乱が起きないように工夫されています。また、夜間の対応策として常時3名の職員が直ぐ駆けつける体制が構築されています。</p> <p>○食事を楽しむ工夫 敷地内に野菜畑があり、そこでサツマイモ、トマト、きゅうりなどを利用者も参加し、野菜作りに励んでいます。収穫された野菜を使用し、特別食として調理し食するというを行い、食事を楽しむ工夫がされています。</p> <p>○記憶に残る思い出作り 事業所では行事が盛んです。その中で利用者のスナップ写真を利用者別に「○○様の写真館」と称し、各自の居室に展示され、普段見られない利用者の表情など記憶に残る思い出をいつまでも思い出せるようにしています。</p> <p>○本人の希望に沿ったサービス提供 サービス提供にあたり、事業所ではできるだけ希望に沿うように行っています。例えば、職員1人と利用者1人で行く馴染みのお店に行く外出支援、入浴は日勤帯であれば利用者の希望にあった時間にいつでも入浴が可能です。また、誕生会の特別食では利用者の希望する食事の提供などを行っています。</p>
--

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	高齢者グループホーム 三幸の園
ユニット名	高齢者グループホーム 三幸の園

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>事業所内に大きく理念を掲げどの職員にもわかり易い言葉で表現しあっています。</p>	<p>事業所独自の運営方針として、家庭的な環境の中で「ゆっくり」「一緒に」「楽しく」を掲げ、事務所に掲示し、職員間で共有しています。また、食事の準備などで一緒に楽しく過ごす場面を確認できました。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>町内会に加入しており、地域行事への招待も多く頂いております。同時に事業所へも近隣の小学生等が足を運んで頂いております。</p>	<p>自治会に加入し、地域の盆踊りなどの行事に積極的に参加したり、地域の人がお正月に獅子舞で来訪したり、くぬぎ台小学校の生徒たちとは相互交流を行うなど地域との交流を日常的に行っています。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>運営推進会議の際に自治会長より地域の現状を聞く機会がありとても参考になります。旭区の取り組みの「アサガオを町一杯に咲かせよう」に参加させて頂き入居者とともアサガオの種を植えました。</p>	/	/
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に一回の運営推進会議の報告書は、職員が目を通す事ができるようファイルしています。</p>	<p>自治会長などの地域住民、地域包括支援センター職員、利用者家族などが参加し2ヶ月に一度の割合で行われています。会議では、ただ単に状況報告に留まらず地域との付き合いなどに関しても話し合いが行われています。</p>	
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>区のグループホーム連絡会を通して情報交換を行う事にしています。</p>	<p>主として、2ヶ月毎に開かれている旭区のグループホーム連絡会を通じ、意見交換や運営推進会議の議事録や便りなどを配布し、事業所の実状を理解してもらっています。何かあればいつでも相談できる関係を構築しています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>法人内の勉強会や、月1回の事業所の勉強会を通して、身体拘束や、虐待についての禁止行為の勉強を行っています。</p>	<p>法人内研修などを通じ、職員は身体拘束について周知しています。原則、日中は玄関の施錠はありません。職員は利用者が外に出たがる様子を感じたならば、管理者に報告し管理者が状況を判断し、玄関の施錠をするときもあります。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>日頃より、第三者から誤解される対応をとらないように呼びかけを行い、ポスター等で啓発を行っています。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在安心センターの職員や、成年後見人の方との連絡を取り合い月に1回は事業所に足を運んで頂き連絡相談の機会を作っています。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の際は十分な説明を行い不明な点はないかその都度確認しています。また、契約前には必ず事業所に足を運んで頂き施設見学をして頂いています。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご利用者の方から不満等については職員より迅速に報告を受け、適切に対処するように努めています。また苦情窓口を掲示しています。</p>	<p>運営推進会議での利用者家族の参加、家族の来訪時での家族との意見交換、家族アンケート、意見箱の設置など利用者、家族の意見を聞き出す努力を行っています。また、出された意見、要望は早急に対応する仕組みになっています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議と勉強会を月に1回行いその際に職員が意見、提案を行える環境を作っています。	管理者は毎月開催の職員会議や勉強会、あるいは年一回、職員との個人面談を行い、意見や要望を聞いています。最近では湯飲みを大きくすることで水分補給をしやすくなるのではないかという意見が出され、実施されています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は、毎日上司に職員や入居者の状況を報告し、必要に応じて助言、指示を頂ける体制を作っています。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎週金曜日に行われる法人の研修会を行い、常勤、非常勤問わず、参加できる体制を作っています。また、外部研修についても必要に応じて参加させています。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市内GH連絡会を通し、他事業所の方と交流の場を設けています。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談、見学については、ご本人に来所して頂き、不安や意見を言い易いよう対応しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の相談においては、必要に応じ面接、電話等で行っており信頼してお話頂けるよう努めています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要に応じてケアマネージャーと相談し、ご本人に対して適切な支援は何かをいくつかの選択肢を家族に提示しながら対応しています。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	事業所の理念である本人の出来る事は過剰に介助せず本人に行って頂き暮らしと共にする者の関係作りを行っています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	行事に家族交流の場を設けています。また月に一回利用者の利用料を持参して頂く事で利用者と顔を合わせて頂くようにしています。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族への面会を促すと共に外出や、外泊を依頼し地域の近所の方々の面会も家族を通して依頼しています。	契約前に、利用予定者の人間関係を含む生活歴などを把握し、さらに日常会話を通じて馴染みの人や場所についても把握しています。家族との馴染みのおすし屋、職員と行きつけの美容院などへの特定の場所に行けるように支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う利用者が近くにいるよう座席配置を行っています。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院等で退所された方についても退院後家族と連絡ととったり、同一法人の特養に入所された方については定期的に面会に行っています。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプランの見直しの際に必ずアセスメントを取り、家族や利用者の意向を確認しながらプラン作りを行っています。	職員は日々の生活の中で利用者との会話を通じ、信頼関係を構築し、話合いのできる環境を育てています。その中で利用者の思いや希望を把握し、困難な場合は利用者の素振り振舞いなどで思いや希望を把握しています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	職員に必ず入居前の本人の生活歴や、生活背景、趣味などの記録を確認するよう促しカンファレンスの際は生活歴を踏まえたプラン作りを心掛けています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	各利用者のケース記録には、利用者の体調変化や、言動を記載して職員が閲覧できるようにしています。また気になる利用者について申し送り簿に記載、閲覧させています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員を中心に職員ケアカンファレンスを行い家族の意向については、来所時や電話連絡で伺うまた家族に参加頂く事もあります。</p>	<p>介護支援専門員が中心となって家族や利用者の要望や意向を確認し、さらに職員の意向を踏まえ、介護計画を作成しています。原則、3ヶ月毎に計画の見直しを行っていますが、利用者の変化に応じ随時見直しを行っています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>申し送り簿や日々の記録に記載また、勉強会の際の職員の意見を参考にしてプランの見直しを行っています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>食事においてはミキサーや刻み食トロミの使用を個々の状況に合わせて対応し、希望があれば個々に外食、買い物にお連れしています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>小学校と定期的な交流を持ったり、地域の祭りや、行事への参加を行っています。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>理事長が医師であり、ご利用者様の健康管理をしており家族へ充分の説明の後地域医療との連絡調整を行っています。</p>	<p>利用する前からのかかりつけ医に継続的に受診してもらいますが、入居時には、ほぼ全員が協力医に変わっています。かかりつけ医から協力医に変更する場合はかかりつけ医から協力医への紹介状を書いてもらい、家族の同意を得て行っています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護は基本的には、週一回であるが、ご利用者様の状態により、その都度報告を行い適切な受診が受けられるような体制を取っています。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には、必ず職員が同伴し、医師に状態の報告を行い入院後は定期的な面会と医療相談室の方と早期退院に向けた連絡調整を行っています。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>事業所にてできる事と出来ない事を十分に説明し、ご家族の希望を良く聞いた上でいくつかの選択しを提示し一番ご利用者、ご家族に良い方法を医師を交えて相談していきます。</p>	<p>家族には「看取りに関する方針」を契約時に明示し、事業所としてできること、できないことを説明し同意を得ています。理事長が医者と言うこともあり、緊急時の24時間対応を含め、医療機関との協力体制は構築されています。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>法人内で年に2回普通救命講習を全職員対象に行っている事と勉強会で急変時の対応を行っています。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域と消防協定を結んでいる事と年に2回の避難訓練により各自避難方法を確認しています。</p>	<p>昨年度は年2回、消防署の応援を得て、地域の人々も参加し、避難訓練を行っています。地域とは防災協定書を結び、備蓄は地域の備蓄品を利用することになっています。また、スプリンクラーの設置も決まり5月に着工予定です。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	法人の勉強会でプライバシーや虐待についてを学び、事業所では、モラルについての勉強会を行う事により職員一人一人に接し方を意識させています。	法人として年1回プライバシーについての勉強会を行い、職員に周知しています。また、職員が「自分自身のチェックリスト」を用いて自己評価を行った際に、言葉遣いについて見直しを行い、改善に向けて全職員で取り組んでいます。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	1日のタイムスケジュールに捉われた介護では無く、あくまでご利用者様主体の介護を行うよう職員に働きかけています。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務をこなすことを優先せず本人のペースにあわせ過剰な介護を行わないよう申し送り対応しています。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整髪に関しては、地域の美容院を予約したり訪問で美容師を招きご本人の希望に沿ったおしゃれを楽しんで頂いております。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日献立表を作りその日の食事内容を提示しているまた、苦手な食べ物については代替品にて対応しています。また盛り付け等もお手伝い頂いています。	七夕、クリスマス、節分などの行事食を多く取り入れるほか、誕生会では利用者からの希望を取り入れたバイキングを行っています。また、利用者と施設内の畑で育てたナス、トマト、サツマイモなどの野菜と一緒に収穫し食べています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の食事量、水分摂取量を毎食記載し、足りない方に関しては、捕食を提供する事で補っています。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアはチェック表を付けて行っており、個々の状態に応じた方法で口腔ケアを行って頂きます。また、必要に応じて協力歯科に受診し診て頂いています。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄チェック表により排泄パターンの把握に努め、個々の状態に合わせた排泄を提供しています。	排泄チェック表により個々の排泄パターンを把握し、タイミングを見計らって声をかけ誘導するなどの自立に向けた支援を行っています。おむつを使用している利用者に対しても、日中はトイレに誘導しトイレで排泄できるよう支援をしています。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排泄チェック表により排便状態を把握し、運動による自然排便を心がけて支援しています。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご利用者様からの希望により入浴を決めているが、夜間帯については提供できていません。	日勤帯であれば、利用者が希望する時間にいつでも入浴することができます。入浴を拒む利用者に対しては、様子を見てそれとなく声をかけて2日に1度は入浴できるように支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間については、安眠を優先し排泄については個々の必要性に応じて対応しています。また日中に関しても静養が必要な方に対しては個々に対応しています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬についてご利用者ごとに内容を一覧にして全ての職員が閲覧できるようにしています。与薬時には、職員の二重チェックにより誤薬に努めています。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々のケアプランに個々の役割を載せており、家事や外出などを通して支援しています。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	玄関は防犯上の理由により施錠しているが、外出の希望があれば職員付き添いの元外出して頂きます。	美容院や外食など一人ひとりの希望に沿って外出支援を行っています。また、月1回、遠くへの外出の機会を設け、季節の花見や羽田空港、鎌倉、山下公園などに皆で出かけています。年2回の法人の施設合同での一泊旅行に希望者が参加しています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理できる方に関してはご自分で管理して頂き買い物などの際はご自身で支払いして頂いています。出来ない方に関しては職員で管理して買い物の希望があれば職員と一緒にいき支払いしていただきます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望により、ご家族やその他、親しい人に対して電話や、手紙の支援を行っています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしています。	リビング、食堂部分は吹き抜けになっており、太陽の光が降り注いで明るい空間を提供しています。又四季の行事を行いその内容を写真で飾る事により楽しい空間を演出しています。	共有部分は吹き抜けになっており、明るく広々としています。季節の花や写真、職員手作りのカレンダーなどが飾られおり、家庭的な雰囲気を作り出しています。	大きい音でテレビを見たいという利用者があるという事情はありますが、他の利用者にも配慮し、食事中はテレビの音を小さくするなどの工夫が期待されます。
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビを2台設置しテレビを観る位置にはソファとテーブルを設置して又、所々にソファを設置している事で気の合う利用者様同士の空間を作る配慮をしています。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各ご利用者様の居室は、寝具やタンスから小物に至るまでご入居時に以前の生活で使い慣れた物を持参頂く事にしてあります。	家具だけでなく湯呑みや箸に至るまで使い慣れたものが持ち込まれ、居心地よく過ごせるよう工夫しています。壁にはその部屋の利用者の写真が貼られた「 様の写真館」のコーナーを設け、利用者が写真を見て楽しめるようになっています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	洗濯機はご利用者様でも使えるように洗面所に設置しており、建物内部のバリアフリー構造から、掃除等も出来る方は、ご自分で行って頂いても危険が無いように配慮しています。		

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	日中の玄関の施錠について現状は日中施錠を してしまう事がある為極力施錠を減らす。	日中の施錠を減らす	日中の業務の中で日勤者全員がリビングフロア に出る事が出来る時間を増やして見守りを強化し ていく	6ヶ月
2	19	一人の利用者の希望でTVの音を大きくして食 事を食べている。他入居者からの苦情は無いも 外部からの指摘があった。	他入居者の環境配慮として音を小さくしていく	TVの音を大きくして観ている入居者に対して他の 利用者の事を配慮して音を小さくして頂くよう願 いする	1ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。